

2018年度第2四半期 決算説明

－ 2018年1月～6月 －

2018年8月10日

株式会社 **CAC Holdings**

- I . 2018年度 上期決算概況
- II . 当社グループの取組み

I . 2018年度 上期決算概況

連結業績概要（前期比）

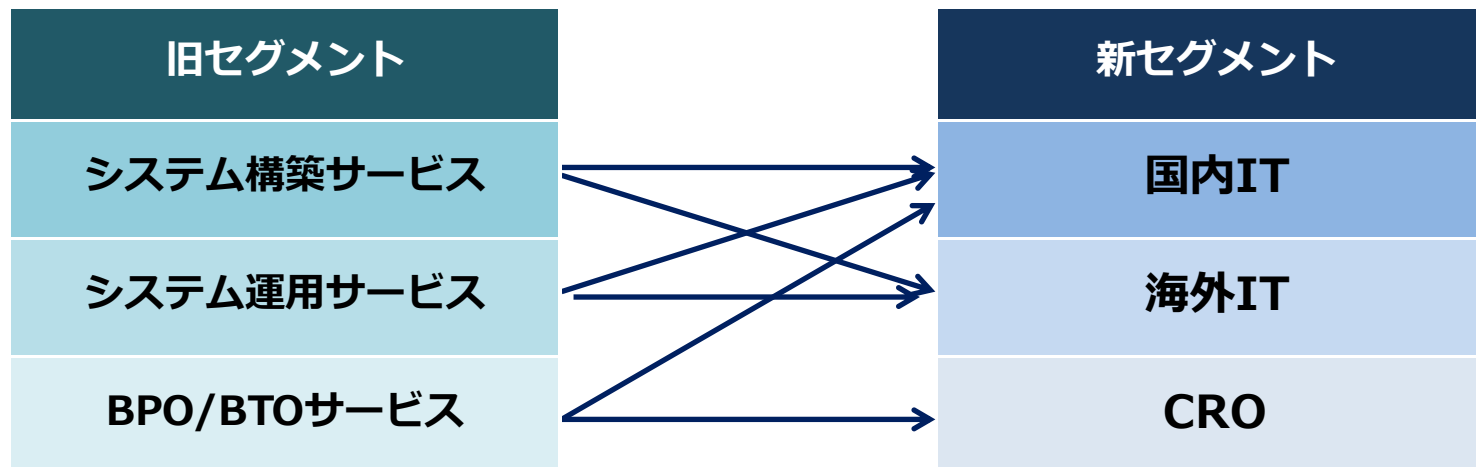
単位：百万円

	17年2Q	18年2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	28,177	25,440	▲2,737	▲ 9.7%
売上総利益	5,462	5,077	▲385	▲ 7.0%
(対売上比)	19.4%	20.0%	0.6pt	
販管費	5,056	4,542	▲513	▲ 10.2%
営業利益	406	534	+128	+31.6%
(対売上比)	1.4%	2.1%	0.7pt	
経常利益	321	477	+155	+48.4%
(対売上比)	1.1%	1.9%	0.7pt	
特別利益	1,161	360	▲800	▲ 68.9%
特別損失	153	161	+7	+4.8%
当期純利益	550	283	▲266	▲ 48.4%
(対売上比)	2.0%	1.1%	▲0.8pt	

- ・ 海外子会社売却の影響、国内主要顧客向けの減収等により、売上高は約10%減少
- ・ CRO事業の利益回復等により、営業利益、経常利益が増加
- ・ 投資有価証券売却益が減少したことにより、当期純利益は減少

報告セグメント変更

2018年度より、中期経営戦略の開始に伴い、報告セグメントを変更



新セグメント概要

国内IT	国内子会社におけるIT関連サービス、人事BPOサービスなど
海外IT	海外子会社におけるIT関連サービスなど
CRO	製薬企業の治験業務や医薬品販売後業務の受託・代行サービス

(新) セグメント別売上高・営業利益（連結）

売上高

単位：百万円

	2017年2Q		2018年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	15,387	54.6%	14,362	56.5%	▲1,025	▲ 6.7%
海外IT	7,328	26.0%	5,412	21.3%	▲1,915	▲ 26.1%
CRO	5,461	19.4%	5,665	22.2%	+203	+3.7%
合計	28,177	100.0%	25,440	100.0%	▲2,737	▲ 9.7%

営業利益

	2017年2Q		2018年2Q		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	542	3.5%	282	2.0%	▲260	▲ 48.0%
海外IT	▲146	-	▲186	-	▲40	-
CRO	10	0.2%	439	7.8%	+428	+4,184.9%
合計	406	1.4%	534	2.1%	+128	+31.6%

※ 売上高は、外部顧客への売上高を表示

顧客業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2017年2Q		2018年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	4,120	14.6%	3,440	13.5%	▲680	▲ 16.5%
信託	2,074	7.4%	2,013	7.9%	▲61	▲ 3.0%
医薬	7,909	28.1%	8,148	32.0%	+238	+3.0%
食品	1,709	6.1%	1,356	5.3%	▲352	▲ 20.6%
製造	1,574	5.6%	1,749	6.9%	+175	+11.1%
サービス他	10,788	38.2%	8,731	34.4%	▲2,056	▲ 19.1%
合計	28,177	100.0%	25,440	100.0%	▲2,737	▲ 9.7%

※ 外部顧客への売上高を表示

(新) セグメント別受注高・受注残高状況（連結）

受注高

単位：百万円

	2017年2Q	2018年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
国内IT	15,724	14,747	▲977	▲ 6.2%
海外IT	6,846	5,503	▲1,342	▲ 19.6%
CRO	5,834	5,614	▲220	▲ 3.8%
合 計	28,405	25,865	▲2,540	▲ 8.9%

受注残高

	2017年2Q	2018年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
国内IT	7,379	7,127	▲252	▲ 3.4%
海外IT	1,773	1,330	▲442	▲ 25.0%
CRO	7,982	7,643	▲338	▲ 4.2%
合 計	17,135	16,101	▲1,033	▲ 6.0%

※ 外部顧客への受注高、受注残高を表示

業種別受注高（連結）

単位：百万円

	2017年2Q	2018年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
金融	4,127	3,746	▲380	▲9.2%
信託	1,934	2,016	+82	+4.2%
医薬	8,570	8,038	▲532	▲6.2%
食品	1,825	1,578	▲247	▲13.5%
製造	1,488	1,744	+256	+17.2%
サービス他	10,458	8,740	▲1,718	▲16.4%
合 計	28,405	25,865	▲2,540	▲8.9%

※ 外部顧客への受注高を表示

2018年度 業績予想（連結）

単位：百万円

	2018年度 2Q実績	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
売上高	25,440	54,000	53,268
営業利益	534	1,600	698
(対売上比)	2.1%	3.0%	1.3%
経常利益	477	1,500	717
(対売上比)	1.9%	2.8%	1.3%
当期純利益	283	1,100	1,100
(対売上比)	1.1%	2.0%	2.1%

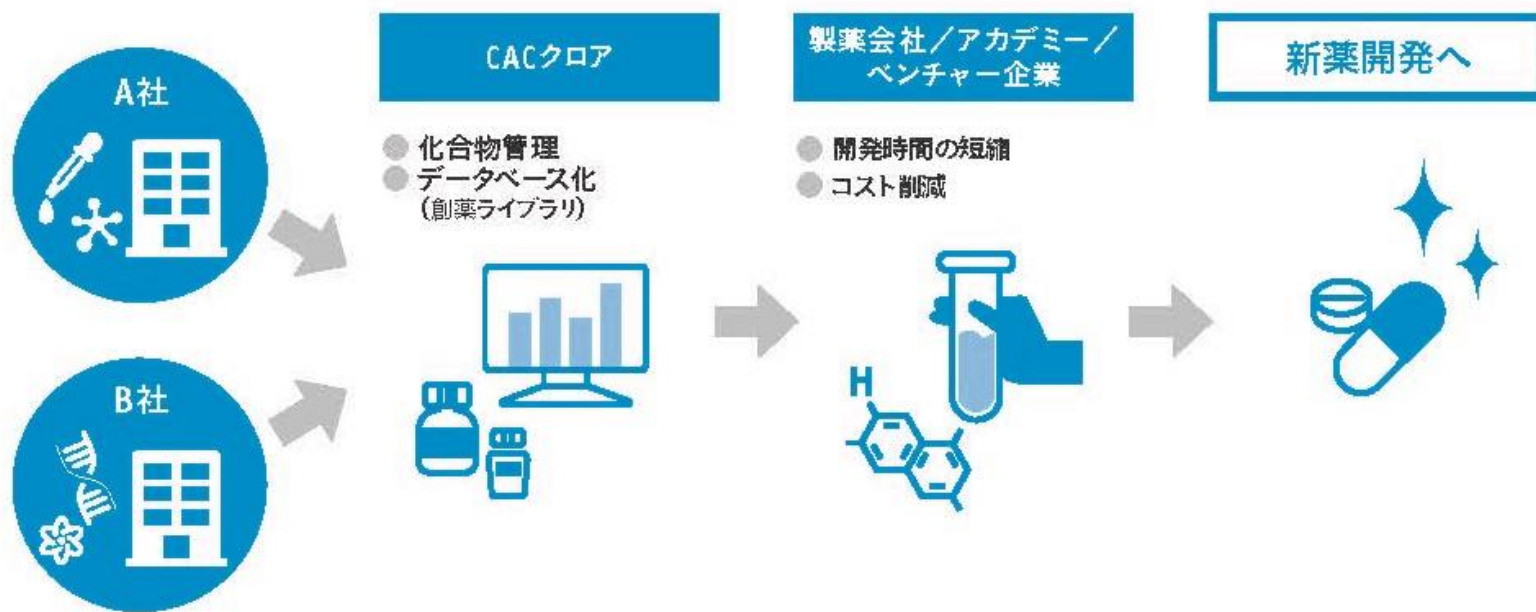
2018年度 配当	中間配当19円を実施	期末配当19円を予定
--------------	------------	------------

Ⅱ．当社グループの取組み

既存事業強化：CRO 周辺事業の拡大

■ 化合物共有ライブラリー事業開始

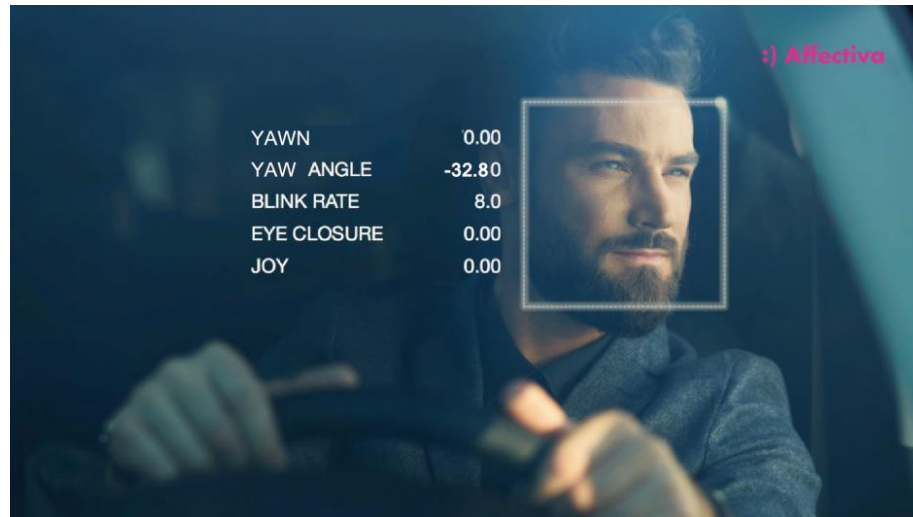
- ・ 製薬会社が個別に保有管理している医薬品探索研究用化合物や情報を、当社が集約管理、データベース化する事業
- ・ データベースを製薬会社やアカデミア、バイオベンチャーなどが共同利用
- ・ 新薬開発への大幅な期間短縮およびコスト削減、新薬開発などへ期待



既存事業強化：デジタルテクノロジーの活用

■ 感情AIを用いたビジネスの展開

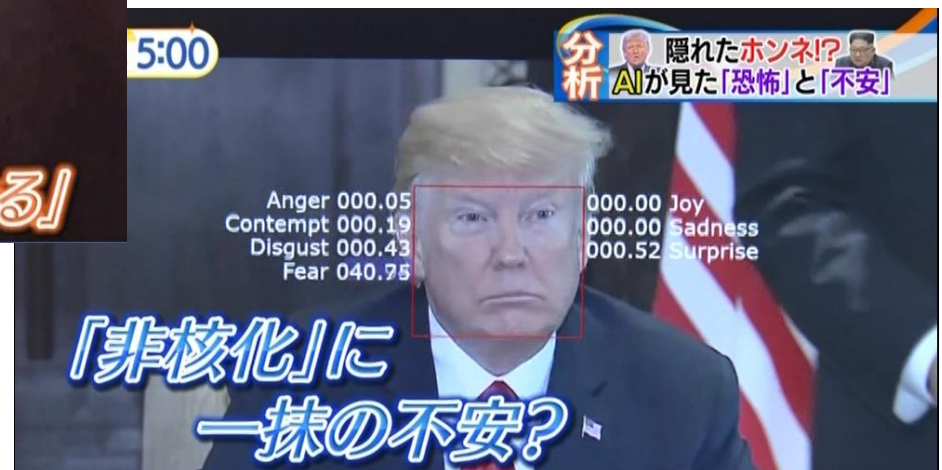
本年2月発表の「心sensor」に続き、
「Automotive AI」サービス提供を開始



- ・ リアルタイムで自動車乗員の感情を分析する車内センシングAI
- ・ 次世代のドライバーモニタリングシステムの開発や、快適な自動運転車両の開発などへの活用が期待

既存事業強化：デジタルテクノロジーの活用（事例）

- テレビ東京の報道番組「夕方サテライト」にて、米朝首脳会談の分析に「心sensor」が活用
- 番組では、「心sensor」で分析された結果に基づきキャスターらが両首脳の心の内を推理



新規事業領域の創出・拡大

■インバウンドビジネス拡大に向け中国VCと協業

- ・ 中国のベンチャーキャピタルである同程衆創とインバウンド事業に係る協業の基本合意を締結
- ・ 同程衆創の持つネットワークから有望なスタートアップ企業を発掘し、出資・提携を予定



グループ強化・活性化

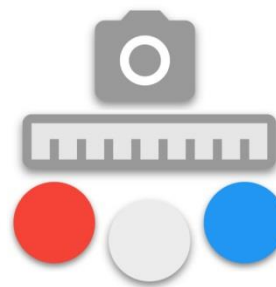


■ ボッチャ佐藤選手を採用

- ・ 佐藤選手の支援および、ボッチャの支援・普及活動を推進
- ・ グループの一体感の醸成

■ ボッチャ関連アプリ配信

ボッチャボール間の距離を自動測定する
Androidアプリ「ボッチャメジャー」を
Google Playで配信開始



参考：上期主要ニュース(1/3)

2018/1/11	国内企業向けCVCファンド組成 ～新規事業創出の一環として、総額30億円のCVCファンドを組成～ CAC Holdingsは、新規事業創出を目的に、国内スタートアップ企業への投資を目的とした運用会社「CAC CAPITAL株式会社」を設立し、当社出資のもと、総額30億円のCVCファンド(コーポレート・ベンチャーキャピタルファンド)を組成。これにより、新規事業創出に向けたより機動的な投資と、スタートアップ企業との早期パートナーシップ構築を目指す。
2018/2/1	CAC 感情認識AIを用いた動画分析サービス「心sensor」の提供を開始 ～手元に動画だけ用意すれば手軽に感情分析が可能に～ シーエーシーは、感情認識AIを用いて人の表情を解析し、読み取った感情を数値データ化する動画分析サービス、「心sensor(Ver.1.0)」の提供を開始した。「心sensor」は、感情認識プラットフォームにAffectiva, Inc. が提供するEmotion Artificial Intelligenceを活用し、CACが独自開発したサービス。各種リサーチや商品開発、顧客満足度調査等に手持ちの動画データを課題解決のための新しいソリューションとして活用することが可能。
2018/3/19	CACクロア 化合物共有ライブラリー事業（クオリティリード）を開始 CACクロアが進める化合物共有ライブラリー事業が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の医療研究開発革新基盤創成事業に採択され、当事業を開始。当事業を通して、国内の創薬体制を強化し、日本発の革新的な医薬品の提供に貢献する。

参考：上期主要ニュース(2/3)

2018/3/23	CAC Holdings、インバウンドビジネスに進出 ～第1弾として、訪日外国人向けの飲食店予約・決済サービスを提供するtourcandyへ出資～ 訪日外国人観光客向けの飲食店予約・決済サービス「尋味（シュンウェイ）」を運営するtourcandy株式会社に出資。本件は、今年度スタートした中期経営戦略「Determination 21」における主要施策の一つであるインバウンドビジネス捕捉への取組み。今後、資本提携に留まらず、CAC上海によるシステム開発やユーザーの取り込み、提携飲食店の開拓などのサポートを提供し、tourcandyのビジネス展開に対する支援も進める。
2018/4/2	CACグループにトップアスリート ボッチャの佐藤駿選手が入社 CACグループは、障害者スポーツ「ボッチャ」の佐藤駿選手を採用。2016年より取り組んでいるボッチャの普及・支援活動のひとつ。佐藤選手の競技活動の支援を通じ、ボッチャの普及・支援を一層推し進めると同時に、佐藤選手の応援を通してグループ一体感の向上を狙う。
2018/4/9	CAC Holdings、インバウンドビジネス拡大に向け中国VCと協業 中国のベンチャーキャピタルである蘇州同程衆創企業管理服務有限公司（同程衆創(トンチョンチュオンチュウアン)）とインバウンド事業に係る協業の基本合意を締結。この協業により、同程衆創の持つネットワークから有望なインバウンド関連のスタートアップ企業を発掘し、出資・提携をすることで、CACグループのインバウンドビジネスを促進・拡大する。

参考：上期主要ニュース(3/3)

2018/6/13	CAC AWSのサービス群を活用した医薬品情報提供ソリューションの提供を開始 シーエーシーは、アマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）のサービス群を活用し、製薬企業が提供する様々な医薬品情報を一括検索できる医薬品情報提供ソリューションの提供を開始。
2018/7/30	CACクロア RPA（Robotic Process Automation）を受託業務へ導入開始 CACクロアは、内資系大手新薬メーカーの医薬品<u>安全性情報管理業務</u>（以下「PV業務」）に Robotic Process Automation（以下「RPA」）を導入、作業時間の大幅な削減が認められた。今回RPAを適用させたのはPV業務のICSR（個別症例安全性報告）プロセスにおけるごく一部であり、すでにセーフティデータベースへの自動入力やファイル管理対応、その他さまざまなプロセスへの応用も推進する。
2018/8/1	CAC、感情認識AIを用いた「Automotive AI」の提供を開始 ～自動車乗員のリアルタイム感情を映像と音声を収集し分析に～ シーエーシーは、リアルタイムで自動車の乗員の感情分析が可能な車内センシングAI「Automotive AI」を提供開始。「Automotive AI」の活用により運転者や同乗者にとって、より安全で快適な環境を構築することを可能にする。また、次世代のドライバーモニタリングシステムの開発や、快適な自動運転車両の開発、同乗者の反応に応じた全く新しい乗車体験の提供などへの活用も期待される。



株式会社 **CAC Holdings**



CACグループは、障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています

経営企画部 Enterprise Value Upグループ

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>